

Port of Hachinohe

No. **36**
Jul 2012

---Maritime & Trade Report---

- 今号の主な記事
- 中国・韓国航路 船舶大型化・サービス拡充
- 復興の追い風に～新造フェリー「シルバープリンセス」就航～
- コンテナ輸送補助金対象者拡大のお知らせ
- 八戸市海外経済協力員レポート（シンガポール）
- 八戸港の復旧状況

中国・韓国航路 船舶大型化・サービス拡充



木曜便で寄港し八戸港初寄港となる STAR EXPRESS 号



歓迎セレモニーにて地元マスコミの取材を受ける南星海運ジャパン(株)の朴社長

南星海運株式会社が運航する八戸港の中国・韓国コンテナ定期航路は、本年5月に航路が再編され、大型船（積載個数962TEU）による週2便体制となりました。

これに伴い、中国の天津新港、大連、青島へ再び直航便で繋がることとなり、同航路の利便性が、震災前の状況に戻ります。

また、同航路で運航される船舶5隻のうち3隻が八戸港初入港となり、八戸港国際物流拠点化推進協議会では、5月23日に南星海運ジャパン株式会社の朴代表取締役社長をお招きし、「初入港船 歓迎セレモニー」を開催しました。

セレモニーでは、八戸市の奈良岡副市長が、「STAR EXPRESS号が八戸港に初めて寄港した事を、大変うれしく感じており、地元を代表して心から歓迎する。八戸港の復旧・復興には、従来の復旧に留まらない創造的復興の実現に向け、八戸港と地域の発展に貢献できるように、船会社をはじめ、関係者と一丸となって努力する。」と挨拶を述べ、八戸港振興協会の大矢会長（当協議会副会長）より、同船の船長に、入港記念のプレートが手渡されました。

今回の航路再編により、八戸港の利便性が向上しましたので、より多くの荷主の皆様へ八戸港を利用いただきたく存じます。

中国・韓国航路 寄港地	
水曜便	天津新港～大連～青島～光陽～釜山～新潟～苫小牧～釧路～八戸～仙台～釜山～蔚山～光陽～天津新港
木曜便	寧波～上海～釜山～新潟～苫小牧～函館～八戸～釜山～蔚山～光陽～寧波

【お問い合わせ先】

南星海運(株)代理店 八戸港湾運送(株)
コンテナ事業部 コンテナ営業課
〒031-8608 八戸市河原木字海岸 16-4
TEL 0178-29-3177 FAX 0178-29-3119

復興の追い風に ～新造フェリー「シルバープリンセス」就航～

平成24年4月7日（土）八戸港フェリー埠頭にて、川崎近海汽船株が1日4便運航しているシルバーフェリー八戸～苦小牧航路へ新たに導入された、新造フェリー「シルバープリンセス」の就航セレモニーが、同社及び八戸港振興協会の共催で開催されました。

セレモニー冒頭、主催者である八戸港振興協会の大矢会長からの挨拶、小林八戸市長からの来賓挨拶と川崎近海汽船株石井社長へ記念品（就航記念プレート）の贈呈、石井社長から小林市長へ返礼品（シルバープリンセスのミニチュア模型）の贈呈がありました。

その後の石井社長の挨拶では、平成25年夏頃までに、航路を運航している4隻のうちさらにもう1隻を新造船に更新する予定であることも発表されました。

セレモニー終了後には、着岸しているシルバープリンセスの船内見学会が行われ、およそ250名の招待客と500名の一般募集客が、木目とピンクを基調とした洗練されたデザイン、ゆったりとした客室、子どもや女性に配慮された専用室など、充実した設備に目を輝かせていました。

シルバーフェリー八戸～苦小牧航路は、昭和48年4月の開設以来、北海道と本州を結ぶ海上交通の大動脈として、物流・観光・レジャーの各方面において重要な役割を担ってまいりました。

フェリー埠頭及びコンテナターミナルの静穏度確保において重要な八太郎北防波堤中央部の本格復旧工事が始まったこともあり、今回の新造船就航は、八戸港と地域の発展を後押しする、復興へのさらなる追い風になるものと期待されています。

（シルバープリンセス仕様）

【総トン数】約10,500 t 【全長】150 m 【航海速力】20.5ノット

【車両積載能力】トラック92台（12m換算）、乗用車30台

【旅客定員】500名（特等室10名、1等室140名、2等シングル30名、2等室240名、ドライバー室80名）

お問い合わせ先
川崎近海汽船株式会社 八戸支店
TEL：0178-28-2018
（予約センター）TEL：0120-539-468



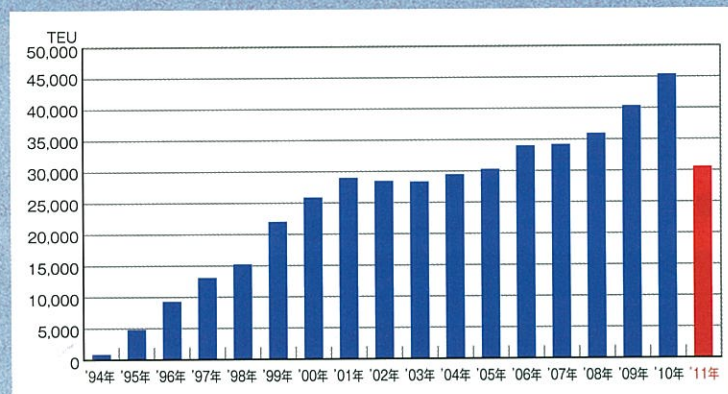
石井社長より記念品を受け取る小林市長（右）



シルバープリンセス外観

2011年八戸港コンテナ取扱貨物量

コンテナ取扱実績（空コンテナ含む）



2011年の八戸港のコンテナ取扱貨物量（空コンテナ含む）は、東日本大震災の影響を受け、対前年比で約32%減少し、30,846TEUとなりました。

また、実入りコンテナの実績も対前年比で34%減少し、18,701TEUとなっております。

	(TEU)	
2011年	空コン含 (前年数)	実入 (前年数)
輸移出	15,022 (22,783)	9,942 (15,402)
輸移入	15,824 (22,647)	8,759 (12,815)
計	30,846 (45,430)	18,701 (28,217)

コンテナ輸送補助金対象者拡大のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進および貿易振興のため、各種補助金制度を実施しています。平成24年度から、コンテナ輸送トライアル補助金について、下記のとおり対象者を拡大いたしましたので、海外市場への事業展開や物流コストの削減にご活用ください。

なお、各補助金とも予算の範囲内での助成となりますので、あらかじめご了承ください。

●コンテナ輸送トライアル補助金制度 《対象者拡大》

対象 ⇒平成23年4月1日以降、八戸港コンテナ定期航路を利用していない荷主様。

※新たに、内航フィーダー航路を使った輸出入も対象となりました。

補助金額 ⇒コンテナ輸出入1回につき5万円。3回まで（過去利用分を含む）。

※県内立地企業は5回まで利用できるようになりました。

●小口混載貨物輸送補助金制度（荷主向け）

対象 ⇒八戸港で小口混載貨物サービスの利用による輸出入を行う荷主様。

補助金額 ⇒貨物1t（または1㎡）あたり3千円（年間15万円まで）。

●小口混載貨物サービス事業支援助成金制度（事業者向け）

対象 ⇒八戸港のコンテナ定期航路で小口混載貨物サービスの提供を行う事業者様。

補助金額 ⇒小口混載貨物輸送1コンテナにつき5万円。

●八戸港青果物等貿易促進補助金

対象 ⇒検疫検査の結果、くん蒸が必要となった場合。

補助金額 ⇒八戸港くん蒸上屋1室1回の使用につき5万円。

お問い合わせ先

八戸港国際物流拠点化推進協議会
（八戸市商工労働部産業振興課内）
TEL：0178-43-9244

八戸セミナー2012のご案内 ～飛躍する創造的復興都市～

八戸市及び八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会では、中部圏及び首都圏企業の八戸市への進出並びに八戸港の利用促進を目的として、下記のとおりセミナーを開催いたします。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

○名古屋会場

日時：平成24年7月24日（火）15:00～18:30

場所：名古屋マリオットアソシアホテル アイリス（16階） 名古屋市中村区名駅1-1-4 TEL：052-584-1122

次第：◆セミナー 15:00～17:00

(1) あいさつ及び八戸市の復興状況 八戸市長 小林 眞

(2) 復興特区の概要 青森県総務部生活再建・産業復興局

(3) 第一講演 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 エコノミスト 内田 俊宏 氏

(4) 第二講演 講師：多摩川精機株式会社 常務取締役 関 重夫 氏

◆情報交換会 17:00～18:30

○東京会場

日時：平成24年7月25日（水）15:00～18:30

場所：東京ドームホテル 天空（地下1階） 東京都文京区後楽1-3-61 TEL：03-5805-2111

次第：◆セミナー 15:00～17:00

(1) あいさつ及び八戸市の復興状況 八戸市長 小林 眞

(2) 復興特区の概要 青森県総務部生活再建・産業復興局

(3) 八戸港の復興状況 青森県県土整備部港湾空港課 港湾振興グループ

(4) 第一講演 講師：エプソンアトミックス株式会社 代表取締役社長 赤羽 史明 氏

(5) 第二講演 講師：南星海運ジャパン株式会社 セールsteam部長代理兼カスタマーチームリーダー 黒澤 教雄 氏

◆情報交換会 17:00～18:30

主催：八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会

後援（予定）：青森県・青森県企業誘致推進協議会・（株）日本政策投資銀行

（独）日本貿易振興機構（ジェトロ）・八戸商工会議所

（独）中小企業基盤整備機構東北本部・（株）八戸港貿易センター

※どなたでもご参加できますので、お気軽にお申し込み下さい。

セミナー・情報交換会
ともに参加無料です。

お申し込み・お問い合わせ先

八戸市商工労働部 産業振興課
TEL：0178-43-9244（直通）
FAX：0178-43-2256

E-mail：sangyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成24年7月現在、中国天津、シンガポール、米国ワシントン州タコマに在住の3名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市商工労働部産業振興課（TEL0178-43-9244）までご連絡ください（なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もあります）。

REPORT

シンガポールレポート



シンガポールの自動車事情

柴田 真理氏

シンガポールは日本の淡路島ほどの国土ですが、500万人以上が暮らしていることから、自動車の需要が大きく、交通渋滞懸念のためCOE：Certificate of Entitlement（車両購入権）制度が設けられています。ナンバープレートを取得するための権利で入札によって決められます。車両購入の際は「車両の金額＋関税約200%＋COE」が必要になります。

陸上交通庁（LTA）が発表した2012年4月の車両購入権（COE）公開入札は、全項目で価格が上昇しました。排気量1,600cc超のB型が前回比8.7%高の9万1,000 Sドル（約593万円）、制限なしのE型が8.8%高の9万2,010 Sドルとなりました。このほか、1,600cc以下で大衆車の部類に入るA型は9.7%高の6万4,201 Sドル、商用車のC型が6.7%高の5万7,589 Sドルでした。

A型のCOE価格は5年前の5,000 Sドル（約32万5,000円）程度から、現在は10倍以上の上昇となり、消費者の自動車所有意欲の減退につながっています。

他にも公共交通機関の発達や、若者の価値観の変化なども背景にあります。20代の若者にとって最大の関心事はキャリアの形成で、自動車の所有はあまり重要ではなくなってきていると言われます。タクシーなどの代替手段を利用した方が低コストで、満足できる結果がすぐに欲しいと考える最近の若者は、必ずしも1回で受かるとは限らないのに高い金額や長い時間をかけて教習所に通うことは意味がないと考える傾向があるようです。

今年1～3月期の並行輸入車の登録台数は476台となり、前年同期の692台から31.2%落ち込みました。メーカー別では、上位10社のうち5社が独系でした。BMWが179台で首位を獲得。日系は苦戦が続いており、上位10社に残ったのはトヨタ（84台で2位）とホンダ（22台で5位）のみでした。これまで並行輸入車の人気メーカーだった日産は1台で、上位10メーカーから完全に脱落しました。

代わって上位に躍り出てきたのが欧州高級車メーカー。5位のボルシェを筆頭に、英高級車のロールスロイス（5台で8位）、ベントレー（3台で9位）、伊フェラーリ（3台で9位）となりました。

業界関係者は「A型の落札者は、近いうちに富裕層や潤沢な資金がある企業で占められる可能性もある」と指摘しています。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 平成24年度定例総会開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、去る4月24日、八戸パークホテルで平成24年度定例総会を開催しました。

冒頭、同協議会会長（八戸市長 小林眞）から「関係者の皆様と一丸となって、更なる八戸港の振興と整備促進に向けた取り組みを行って参りたい」と挨拶を述べました。

その後、昨年の八戸港のコンテナ取扱量について、震災の影響もあり対前年比68%の30,846TEUに留まったものの、港湾設備やコンテナ航路は迅速に復旧していることが報告され、国際物流拠点港として八戸港の発展を目指す観点から、今年度の事業計画など、議事案件はいずれも承認されました。

主な事業計画は以下のとおりです。

- 海外ポートセールス
ミッション団の派遣、セミナーの開催（韓国ほか）
- 国内ポートセールス
首都圏におけるポートセミナー「八戸セミナー2012」の開催
北東北におけるポートセミナー「八戸港貿易促進セミナー」の開催（盛岡市）
- コンテナ定期航路の拡充
- 各種補助金制度（詳細3ページ上段）
八戸港コンテナ輸送トライアル補助金の交付
小口混載貨物関連補助金の交付
八戸港青果物等貿易促進補助金の交付
- 各種経済交流ミッション等への参加
フード台北、香港フードエキスポ、蘭州投資貿易相談会等



八戸港の復旧状況

八戸港の復旧は、震災直後からの国、青森県による航路泊地の啓開作業を始めとして、防波堤、コンテナターミナル、埠頭用地等の復旧工事が進められており、八戸港全体で、平成 25 年度内の完了を目指しております。

◎八太郎北防波堤

津波により、延長約 3,500 m のうち 4 割となる約 1,500 m が倒壊し、甚大な被害を受けましたが、昨年 6 月から復旧工事に着手し、今年 2 月には消波ブロックの積み上げによる応急復旧工事が完了しており、現在、新設ケーソンの製作、倒壊ケーソンの破碎・撤去作業が行われております。さらにこの 4 月から、本格復旧となるケーソンの据付がスタートし、5 月末現在で 16 函のケーソン据付が完了しており、平成 25 年度内の完成に向け、鋭意、復旧工事が進められております。

◎航路、泊地

震災直後より港内に流出した自動車、小型船、コンテナ等の撤去は、昨年 6 月に完了しておりますが、広範囲に堆積した土砂を取り除く浚渫工事が、1 月から八太郎地区の泊地で始まり、以降、他の航路、泊地においても、順次、浚渫工事が行われております。

また、津波により航路が大きく洗掘された、中央第 1 防波堤と中央第 2 防波堤の間や、白銀北防波堤と白銀西防波堤の間の埋戻工事が、昨年 12 月より行われております。

航路、泊地の復旧完了は平成 24 年度内を目指しております。

◎コンテナターミナル

応急復旧工事により、昨年 4 月のガントリークレーン 2 号機の稼働再開をはじめとして、ガントリークレーン 1 号機、リーフアップラグ等の設備が順次稼働を再開しております。現在は、受変電設備、管理棟、検査棟の復旧工事が、平成 24 年度内の完了を目指して進められております。



八太郎北防波堤におけるケーソン据付状況
(提供：国土交通省 八戸港湾・空港整備事務所)

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL:0178-43-9386

震災復興への架け橋 ～大型客船「にっぽん丸」9月に八戸へ～

本年 9 月 23 日(日)、「秋の味覚クルーズ～十勝・八戸・石巻～」(9 月 20 日(木)～ 25 日(火)横浜港発着)の行程で、八戸港に商船三井客船㈱の「にっぽん丸 (22,472 トン)」が寄港します。

当日は、吹奏楽演奏、大漁旗などで入港を歓迎し、午前 8 時に八太郎 4 号埠頭 P 岸壁に接岸後、入港歓迎セレモニーが行われる予定です。

セレモニー終了後は、多くの乗船客の皆様が「りんご狩り体験」などのオプションツアーに出発し、地元の人達と交流しながら八戸の豊かな自然と食を満喫していただきます。また、岸壁においても「八戸せんべい汁」のお振舞い、「北のフルーツパーラー体験」などの催しでお楽しみいただけます。

夕方の出港イベントでは、八戸小唄や南部手踊り、八戸えんぶりや法霊神楽の迫力ある郷土芸能の披露を予定しておりますので、午後 6 時の出港の際は多くの市民の方にお客様のお見送りをさせていただきますようご協力をお願いいたします。

今回で 5 年連続での大型客船の寄港となりますが、八戸市としても八戸港の復興、そして震災に負けない八戸を PR できるよう、さらには今後たくさんの客船に継続的に寄港していただけるよう、誘致活動に取り組んで参ります。



平成 22 年 9 月 28 日八戸寄港時
歓迎セレモニーの様子

「にっぽん丸」

商船三井客船㈱が運航する旅客船で、初代・にっぽん丸は 1958 年に竣工。現在のにっぽん丸は 3 代目。2010 年 3 月大改装されました。全長 166.6m、全幅 24m、総トン数 22,472 トン、船客定員 202 室 (524 名)。船全体のコンセプトは「海の別世界」。「食とくつろぎのにっぽん丸」として親しまれています。



にっぽん丸
(撮影：三好和義氏)

お問い合わせ先

八戸市まちづくり文化観光部観光課
TEL：0178 - 46 - 4040

平成24年度 青森県海外市場販路開拓支援事業費補助金

青森県では、県内の中小企業等の皆さんが、海外での市場開拓、販路拡大を目指す取組に対して支援を行っています。積極的な応募をお待ちしておりますので、関心のある方はどうぞお気軽にお問合せください。

応募資格

青森県内に本社・事業所のある中小企業・個人

補助対象経費

1. 海外見本市等への出展に係る次の経費
ブース借上・装飾費、通訳代、輸送費、
機器レンタル代、光熱水費
2. 外国語版ホームページ及びパンフレット作成経費
3. 企業間国際取引サイトへの出展料
4. 外国商標出願経費

※2～4については、海外での見本市等に出展予定又は過去3年間に
出展したことのある企業を対象とします。

補助額・補助率

- 対象事業費の1/3以内の額（ただし上限500千円）



事業実施期間等

- 事業実施期間：平成24年度内に終了するもの。ただし交付決定前に着手した事業は対象になりませんので、ご注意ください。

応募方法

- 事業計画書を提出していただき、県で審査の上決定します。

その他

- 支援対象に決定した場合は、企業名と事業概略等を県のホームページ等で公表することもありますので、あらかじめご了承ください。
- 事業計画書の作成にあたって、随時アドバイスをします。
- 支援対象に決定した場合は、県の規程に従い補助金交付に係る手続きが別途必要です。

お問い合わせ先

青森県観光国際戦略局国際経済課 経済交流グループ
〒030-8570 青森市長島1-1-1

電話：017-734-9730 FAX：017-734-8119

Email：kokusaikeizai@pref.aomori.lg.jp

URL：http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kokusai/kokusaikeizai/

八戸海上保安部「巡視船しもきた」が新たに配属

平成24年3月26日、八戸海上保安部へ新たに配属となりました巡視船「しもきた」についてご紹介します。

巡視船「しもきた」は、下北半島に由来して命名された初代巡視船「しもきた」の船名を引き継ぎ、ヘリコプターが発着できる甲板を備えた拠点機能強化型巡視船で、総トン数1,300トン、長さ89m、速力は27ノット以上（時速約50km以上）の性能を有し、遠隔監視探証装置や遠隔放水銃などを備えた海上保安庁の新鋭巡視船です。

主な任務は、海上における治安の維持、海難救助、災害対応、海上交通の安全確保などで、八戸海上保安部の担任水域である青森県下北郡東通村から岩手県九戸郡野田村に至る太平洋沿岸及び津軽海峡東口の海域はもとより、東北地方の太平洋沿岸等において日夜活動しています。

今後とも、地域社会のニーズに応え、地域の皆様に信頼されるよう、八戸、そして東北の海の安全と安心を乗組員一丸となって、守ってまいります。



巡視船「しもきた」

お問い合わせ先

八戸海上保安部
八戸市築港街2-16 八戸港湾合同庁舎4階
TEL：0178-33-1222 FAX：0178-33-1223

日本からの 牛肉輸入を再開 (カナダ)

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

2010年4月20日に宮崎県で発生した口蹄疫により、日本からカナダへの牛肉の輸出は、過去2年余り停止されていましたが、カナダ当局から牛肉の輸入を認めるとの連絡を受け、日本の農林水産省は本年4月25日、既に承認済みである対カナダ輸出食肉取扱施設からの牛肉の輸出手続きを再開すると発表しました。

■口蹄疫発生前は36トン輸出

カナダ統計局によれば、11年のカナダの牛肉(生鮮・冷蔵・冷凍。くず肉は含まない)の輸入量は16万7,215トンでした。輸入先は米国の12万7,424トン(シェア76.20%)を筆頭に、ニュージーランドの2万4,125トン(同14.43%)、オーストラリアの9,685トン(同5.79%)、ウルグアイの5,980トン(同3.58%)となっています。

カナダの日本からの牛肉の輸入実績は、口蹄疫発生前の09年に年間36トンが記録されています(表)。

11年のカナダの牛肉の輸入は、全体で前年比約20%の伸びを示しています。この傾向が、今回の日本からの牛肉輸入再開を受けて、日本産牛肉のカナダ向け輸出の増加につながる事が期待されます。

《カナダの牛肉の輸入》(出所 カナダ統計局)

(単位: トン)

輸入先	2009年	2010年	2011年
米国	91,318	97,825	127,424
ニュージーランド	29,939	22,100	24,125
オーストラリア	12,111	8,388	9,685
ウルグアイ	11,920	11,107	5,980
グアテマラ	0.073	0	0
英国	0.006	0	0
香港	0	0.092	0
日本	36	14	0
輸入合計	145,324	139,433	167,215

(注1) HS0201(牛肉生鮮・冷蔵)と0202(冷凍)を合算。HS0206(くず肉)は含まない。
(注2) 日本の財務省貿易統計によれば、09年の日本からカナダ向け牛肉の輸出量は2.07トンとなっており、カナダ統計局の発表数値と異なっている。

八戸港の貿易概況報告(平成24年1月~4月)

<概況>

輸出入を合わせた貿易額合計は、2月から三ヶ月続けて前年を上回り、東日本大震災前の平成22年の水準に近くなっている。コンテナ通関本数も2年前の実績を超えており、輸出・輸入とも順調に回復していることを伺わせる。

輸出では、鉄鋼と一般機械が好調で、輸入では、とうもろこしとウッドチップが好調である。

■平成24年1月~4月の貿易速報値(金額単位:千円)

※資料: 八戸税関支署発表の貿易概況
(八戸港・むつ小川原港・久慈港) から抜粋

輸出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	12,368	1,175,419	385.3%	363.3%
原皮及び毛皮(未仕上)	MT	1,473	201,630	184.8%	257.0%
鉄鋼くず	MT	10,870	361,658	381.3%	396.4%
有機化合物		-	127,700		80.2%
鉄鋼	MT	64,356	18,386,987	232.0%	167.5%
非鉄金属	MT	1,189	184,762	102.0%	82.3%
一般機械			11,683,192		108.4%
船舶類	NO	2	9,430,000	50.0%	70.2%
その他			443,763		89.3%
合計	-		41,995,111		114.9%

輸入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	1,897	927,709	143.3%	144.4%
とうもろこし	MT	280,955	7,605,662	113.6%	120.2%
こうりゃん	MT	55,411	1,514,407	126.0%	139.5%
植物性油かす	MT	69,203	2,324,918	89.9%	73.7%
木材			254,295		254.3%
粗鉄物	MT	47,968	435,618	159.5%	360.5%
ニッケル錠	MT	624,193	3,608,681	160.1%	119.8%
鉛錠	MT	0	0	-	-
亜鉛錠	MT	53,209	2,982,043	277.5%	248.4%
非鉄金属くず	MT	6,440	340,957	88.2%	81.5%
石炭・コークス・練炭	MT	230,617	3,522,189	131.4%	143.9%
肥料	MT	22,170	970,522	589.0%	809.9%
その他化学製品	MT	5,615	357,795	167.2%	142.3%
ウッドチップ	MT	261,429	5,346,361	134.0%	136.2%
織物用糸・織物			196,255		195.3%
非鉄金属	MT	81	58,545	1012.5%	1131.5%
金属製品			319,907		162.0%
一般機械			3,141,902		615.2%
電気機器			1,414,610		2472.1%
再輸入品			232,309		96.1%
その他			4,066,556		205.8%
合計			39,621,241		153.0%

●コンテナ貨物通関本数()内は対前年比

輸出	3,961TEU (216.0%)
輸入	3,453TEU (156.7%)
合計	7,414TEU (183.7%)

●月別貿易額 比較推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年比(23年)	60.9%	106.5%	209.7%	348.8%								
前々年比(22年)	76.9%	137.4%	100.8%	94.2%								

コンテナ航路		船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便 (水・木)	《寄港地》 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、天津新港、大連、青島、寧波) 《接続地》 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州他
	北米航路	WSL (Westwood Shipping Lines) (株)横浜コンテナライン	八戸港湾運送(株) 八戸通運(株)	-	《寄港地》 アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山 《寄港地》 横浜 《接続地》 世界各港
内航	内航フィーダー航路	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金or土)	《寄港地》 東京・横浜 《接続地》 世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便	《寄港地》 東京、横浜、清水 《接続地》 世界各港

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	4
光陽(韓国)	5	9
蔚山(韓国)	5	10
基隆(台湾)	6	15
台中(台湾)	7	14
高雄(台湾)	12	17
香港(中国)	14	12
大連(中国)	9	11
青島(中国)	10	10
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	8	13
寧波(中国)	6	8
蛇口(中国)	16	13
シンガポール	17	24
ジャカルタ(インドネシア)	26	22
バンコク(タイ)	17	17
レムチャバン(タイ)	18	17
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	14	20
ハイフォン(ベトナム)	13	15
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルク(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42



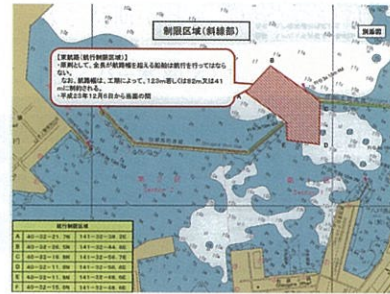
青森県では、東日本震災の津波によって被害を受けた八戸港の災害復旧工事を進めています。

八戸港の白銀地区では、白銀北防波堤及び白銀西防波堤の端部ケーソンが転倒したり、白銀東航路が洗掘され周囲の構造物が不安定な状態になるなどの被害を受けており、これらの被害を復旧するために、ケーソンやブロックの据付工事や、航路の埋戻し工事を行っています。

これらの工事に伴い白銀東航路においては、船舶の航行の制限が実施されていますので、同航路を通行される際には、制限に沿った航行をお願いします。

なお、同航路の通行の制限は、工事の施行段階に合わせて制限のパターンが変更になります。航行可能区域等につきましては、その都度お知らせすることにしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。制限の内容につきましては、三八地域整備部八戸港管理所のホームページでもご覧いただけます。

港の安全のために必要な工事ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



白銀東航路の規制図
青森県三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所
TEL:0178-23-5310 FAX:0178-23-5660

編集後記

今年は天文現象の当たり年と言われています。5月は金環日食、6月は金星の日面通過、7月は木星食、8月は金星食と、大きな現象が続いています。8月の金星食は、ペルセウス座流星群の時期と重なるので、食を観測しながら流星も見られるかもしれません。

金環日食はインパクトが大きいので、普段そういうことに関心がなくても、興味がわいた人が多いのではないのでしょうか。八戸では金環日食のルートから少しずれていましたので、残念ながら部分日食でした。当日は朝から曇りで霧もかかり、ダメかなと思って見上げると、雲を通して欠けた太陽がうっすら見え、なんとかピンホールを通して見ることができました。

この春は、天文ショーや東京スカイツリー開業など、全国的な明るい話題が続いていますが、夏にはロンドンオリンピックも開催され、気温以上に熱い夏になるのではないのでしょうか。節電を大変と思わず、星を見るために照明を消す、みんなで集まってオリンピックを応援するなど、楽しみながら節電になればいいですね。

※航路情報や寄港地毎の所要日数等は、やむを得ず変更になる場合がございます。詳細は各代理店へご確認をお願いします。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-20-3040	FAX:0178-20-3154
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-73-9220	FAX:0178-73-9225

株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青い森信用金庫
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市商工労働部産業振興課内
TEL:0178-43-9244 FAX:0178-43-2256 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp